

【第90回生涯教育講座】

変化した病理診断の役割と病理医の現状

まる やま り る け
丸 山 理 留 敬

キーワード：病理診断，乳癌，個別化治療，ザンクトガレン，病理医の現状

はじめに

明治以来日本では、病理学は基礎医学の中に位置づけられており、現在でもその基本的な認識はさほど変わっていないように思われる。しかし、かつて医学の王道とまで言われた病理学において、剖検材料などを使った純粋な形態学的研究は遠い過去のものとなり、分子生物学的手法の導入により研究面での分野ごとの差がなくなってきた現在、残念ながら病理学というその言葉の定義さえ不明瞭になってきている。一方、従来病理学の中では非常にマイナーな存在であった、臨床における病理診断業務（外科病理あるいは病院病理とも呼ばれる）の重要性は以前より明らかに量的、質的に増大し変化している（図1）。このことは、病理側の努力もさることながら、分子生物学の著しい進歩による免疫染色や遺伝子検索技術の発達と、それらによる組織標本上で検索可能な項目数の増加、多くの分子標的治療薬の登場、内視鏡技術や画像診断の発達、消化管内視鏡切除や縮小手術の傾向など基礎・臨床医学全般の進歩によるもので、それにより病理も変わらざるをえなくなったといっても過言ではない。筆者が卒業した頃、臨床

における病理診断の役割はさほど重要視されていなかったように思われる。報告書でいえば病理診断の項目にその診断名を入れ、所見欄にその根拠となる所見を簡単に記載するだけであった。臨床医もさほど所見欄を気にすることはなかったように思われる。しかし現在では手術標本において、所見欄に我々が書くべき項目が治療に際し非常に重要になってきている。正確な病理診断がなければ治療を誤るという観点からすれば、以前から生検病理診断が治療に重要であったことは論を待たないが、それに加えてどのような所見が病変部にあるのが治療方針に大きくかかわってくるようになり、詳細な報告が求められている。かつて、1980年代の半ばに免疫染色が診断に取り入れられた頃、将来「癌染色」なるものが出てきて病理のプロは必要なくなるとささやかれ、1990年代半ばから遺伝子検索が比較的容易になってきた頃、将来顕微鏡さえ必要なくなるのではないかと危惧された。しかしこれらの病理不要論はほとんど影をひそめ、病理医の役割はポストゲノム時代に入りますます大きくなるばかりである。最近では日本病理学会の中でも日常の病理診断に直結する研究発表や病理診断講習会が隆盛を極めており、筆者の卒業当時と比較すると隔世の感がある。また、日頃学内外の若手医師と接していると、初期研修を終わり「病理」を志す若い医師（ごく少数では

Riruke MARUYAMA

島根大学医学部病理学講座（器官病理学）

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

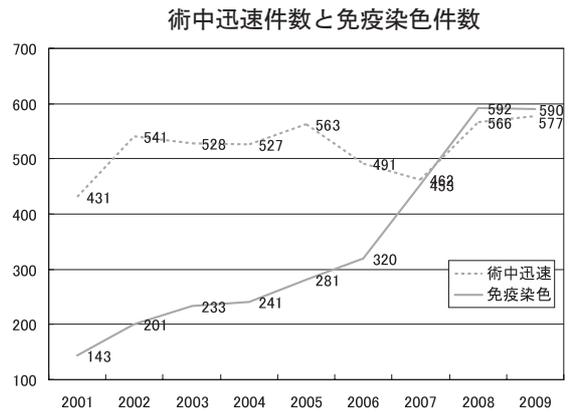
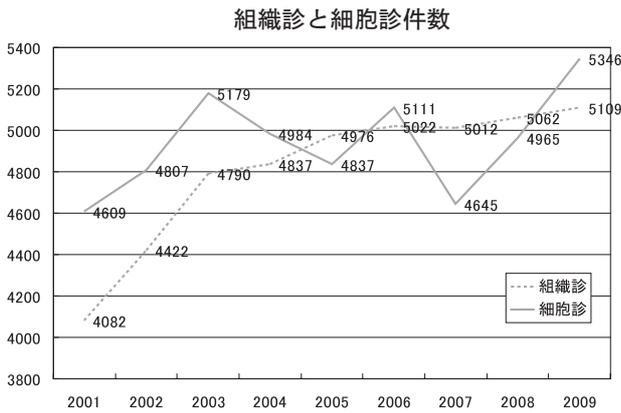


図1 島根大学医学部附属病院における病理検体数の推移

あるが)のほとんどが、基礎研究者ではなく臨床病理を中心とした仕事に就きたいと考えているように思われる。しかし臨床と基礎の両面を俯瞰できる立場にあり、病変部をアーカイブとして管理している病理の研究面における役割は、今でも決して衰えていないと筆者は確信している。ともあれ、ここでは臨床における病理の最近の役割に絞って乳癌を例にとって述べ、最後にあまり学問的な話ではないが、そのような役割を果たすべき病理の置かれている現状や問題点を挙げてみたい。

乳癌の診断と治療に関する病理の役割

我が国において乳癌の罹患率は近年増加しつつあり、現在約4万人が診断されている、女性で最も多い癌であり、日本では残念ながら死亡率が増加してきている¹⁾(図2)。しかしその診断・治療は個別化という意味において他の分野に比べて最も進歩した領域といえる。

1) 乳腺疾患の組織診断

臨床的に乳腺疾患を捉えた場合、まずは組織あるいは細胞採取を行って診断を確定しなければならない。大半の乳癌は乳管の末梢にある終末乳管と小葉からなる、terminal duct lobular unit (TDLU) と呼ばれる部位から発生し、乳管への

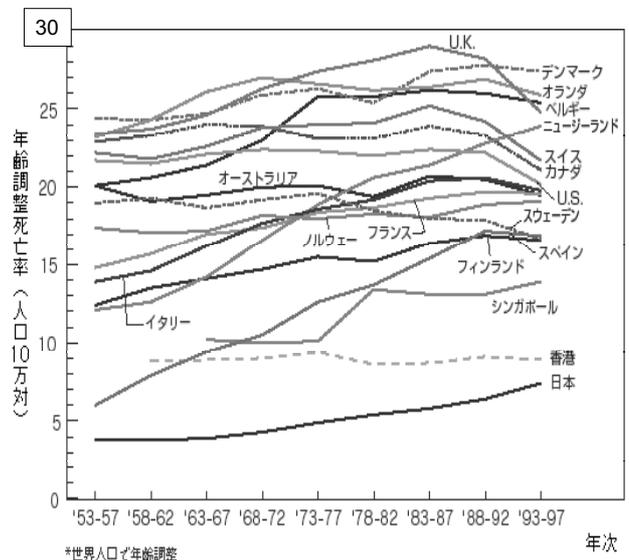


図2 各国の乳癌死亡率

分化を残すものを乳管癌 ductal carcinoma, 小葉への分化を残すものを小葉癌 lobular carcinoma と呼ぶ。そして癌であっても乳管や小葉内にとどまっているものを非浸潤癌, 基底膜を越えて間質に浸潤するものを浸潤癌と呼ぶ。しかしこれらの中でも疾患概念の変遷がある上、良性、悪性を問わず従来あったものに加えて新しい分類項目も増加している。現在 WHO 分類にある乳腺疾患項目は細分類を含めると90以上にのぼる²⁾。新しいものの代表をいくつか見てみると、良性で